

ギター脳による合唱のための和音・転調講座

2014/03/18

3月8日の練習で扱った、どちなきししたん iv の転調部分についてまとめです。

◆コードネームの読み方



ギターの世界では、この様に表記する事になっています。メジャーの和音(合唱で言う dur)をアルファベットのみで表記し、これを基本形として和音の響きを表す記号が付随します。

◆構成音の役割

和音を構成する音には、それぞれ役割があります。C を例に簡単に説明するので、低いほうから読んでね。

第5音	根音を補助する音。 根音との幅が厳密になるほど、根音もしっかり聞こえてくる。
第3音 (性格音)	和音に明暗の表情を加える音。 長3度：明るい ← (半音違い) → 短3度：暗い ここの音程が崩れると、和音全体の印象が変わってしまう。
第1音 (根音)	和音の高さを決める。この場合はC。 この音を基準にして音を重ねて行くので、しっかり出すこと。

音量の比率としては、
 $1 \geq 5 \geq 3$ が理想

※以下、明るい和音をつくる第3音を「▲3」、暗い和音をつくる第3音を「▼3」と表記します。

上記の1、3、5が基本的な和音の構成です。第3音が2種類あるので、これだけで明るい和音と暗い和音を作る事が出来ます。さらに構成音を加える事で、和音に対してさらに細かい表情を付けられます。

◆転調部のコードについて

どちなき iv の転調部には以下の和音が使われています。69小節のCは前述の明るい和音、71小節は同じく暗い和音です。残りの3つについては、次の表にまとめました。

小節	コードネーム	構成音	メジャーとのちがい
68	シー・サスペンデッドフォー C s u s 4	1・4・5	長3度が4度になり、明るいを乗り越えて神々しい響き。第5音とぶつかるので、半音下げてメジャーに行くくと落ち着く感じ。
69	シー・メジャー C	1・▲3・5	これがCメジャー。合唱で言う dur。明るい和音。
70	ディーフラット・メジャーセブンス D ^b M 7	1・▲3・5・M7	1・▲3・5の明るい和音に、第7音(長7度)を追加。 ▲3・5・M7が暗い和音の構成と同じになるので、明るい和音と暗い和音が混ざった感じの響きになる。M7が強過ぎると纏まりが悪い。
71	ディー・セブンス D 7	1・▲3・5・7	第7音(短7度)を追加した和音。第7音が根音のオクターブに行きたがる性質を持ち、その行き先を第5音に持つ和音(G)に移りたい気がしてくる。次の和音に行きたい気持ちは、7の音量に比例。
71	ジー・マイナー G m	1・▼3・5	合唱で言う mol。暗い和音。根音と第3音は短3度。

※音量の比率としては、大体こんな感じ⇒ $1 \geq 5 \geq 3 = 4 > 7 \geq M7$

長くなりましたが、以上が転調部に使われている和音の解説です。この頁では和音ごとの性質を扱って来ましたが、流れで見るとパートごとの役割が見えてくるかも…? という訳で、流れについては別紙をご覧ください。